参考資料３

諸外国のサイバーセキュリティ研究開発に関する戦略や計画等の構成

米国

FEDERAL CYBERSECURITY RESEARCH AND DEVELOPMENT STRATEGIC PLAN（連邦サイバーセキュリティ研究開発戦略計画）［2019 年 12 月 国家科学技術評議会（NSTC）］

目次

2016 年にはなかったもの。本計画で初めて 6 つの分野を同定（国家サイバー戦略 2018（2018 National Cyber Strategy）と 2021 年度研究開発予算優先事項覚書（FY2021 Research and Development Budget Priorities Memorandum）を受けて）

AI とサイバーセキュリティの相互のニーズとメリットに焦点

量子技術によるサイバーセキュリティへの影響と、量子コンピューティングインフラや量子情報技術を攻撃から守る手法

５G やポスト５G、IoT、サイバーフィジカルシステム等

安全なサプライチェーン等

科学的基礎の重要性につき引き続き指南

出所：ホームページ

https://www.nitrd.gov/news/Federal-Cybersecurity-RD-Strategic-Plan-2019.aspx

※翻訳および注釈は事務局にて付記したもの

欧州

Analysis of the European R&D priorities in cybersecurity（サイバーセキュリティにおける欧州の研究開発優先事項）［2018 年 12 月 欧州ネットワーク情報セキュリティ庁（ENISA）］

目次

研究開発の戦略的優先事項勧告のベースとして、2025 年の欧州のシナリオをもとに、脅威を同定し、それを軽減できる可能性のある領域を提案している。同定された戦略的トピックスの詳細分析と研究における課題は Annex A と B で議論されている。

量子コンピューティングを利用した攻撃への耐性を提供する技術的手法（耐量子計算機暗号、耐量子安全性暗号(QSC)）および量子鍵配送に代表される量子効果を利用する技術的手法

出所：ホームページ
https://www.enisa.europa.eu/publications/analysis-of-the-european-r-d-priorities-in-cybersecurity

※翻訳および注釈は事務局にて付記したもの

英国

Interim Cyber Security Science & Technology Strategy（暫定サイバーセキュリティ科学技術戦略）［2017 年 11 月 英国政府　内閣府］

目次

サイバーセキュリティの脅威の特定と対処に重要なツールとして AI を活用

量子技術や Fintech を含む

パート 1 で多くの重要な新興技術を、学会、業界、技術者、英国政府の科学技術コミュニティ等の専門家と相談した結果をもとに同定し、パート 2 で、これら新興技術トレンドに対する幾つかの初期的な政策対応を開発

出所：ホームページ
https://www.gov.uk/government/publications/interim-cyber-security-science-and-technology-strategy

※翻訳および注釈は事務局にて付記したもの